

## 日本教育大学協会が評議員会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、6月18日（月）、評議員会をKKRホテル東京（東京都千代田区）において開催し、会員47国立教員養成系大学・学部・附属学校の代表者をはじめ約100名が出席した。

冒頭、出口会長の挨拶では、「現在、機能強化という観点から、一法人複数大学制度やそれに伴う連携・統合等、教員養成に関する様々な議論がなされている。我々としては現状を見極め、対応をしていきたいと考えている。教員養成を取り巻く状況は非常に厳しいものがあるが、会員一丸となって政策提言・提案や情報共有を行っていきたい。」と述べた。続いて、評議員会の議事進行を丹信介副会長（山口大学教育学部長）が務めることについて了承した。

会の前半は、文部科学省及び内閣府から施策説明があった。文科省からは、白井俊教育課程課教育課程企画室長より新学習指導要領について、安彦広斉情報教育課情報教育振興室長より新学習指導要領（情報活用能力・プログラミング）について、坪田知広児童生徒課長よりいじめ問題の対応について、柳澤好治教職員課長より現職教員の新たな免許状取得を促進する講習等開発事業（追加公募）及び免許状更新講習の開設について、高田行紀大学振興課教員養成企画室長より①国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議報告書等について、②総合教育政策局の設置について、それぞれ説明があり、意見交換を行った。また、内閣府からは、仁科雅弘知的財産戦略推進事務局参事官より「知的創造教育」の実施に向けた取り組み状況について、説明があった。

後半は、2月8日開催の理事会に提出された「日本教育大学協会のあり方等に関する検討報告書」について報告を行った後、①平成29年度決算報告書（案）、②日本教育大学協会規約及び諸規程の一部改正等（案）、③平成30年度事業計画（案）、④平成30年度予算書（案）について審議を行い、提案どおり承認した。その後、①平成29年度事業報告、②各常置委員会および各地区会報告、③日本教育大学協会企画・調査研究委員会委員における地区会長及び単科大学長の中から選出される者の輪番について報告があった。



出口会長



丹副会長



白井文科省  
教育課程企画室長



安彦文科省  
情報教育振興室長



坪田文科省  
児童生徒課長



柳澤文科省  
教職員課長



高田文科省  
教員養成企画室長



仁科内閣府  
知財戦略推進事務局参事官



評議員会の様子